

「脱炭素社会づくりキャンペーン講演会」

弊社 戦略事業ユニット インフラ・インダストリー事業本部 インフラ事業企画部 青野が登壇しました

2023年2月13日（月）、一般社団法人 東京ビルディング協会主催「脱炭素社会づくりキャンペーン講演会（以下、「本講演会」）」が開催され、弊社 戦略事業ユニット インフラ・インダストリー事業本部 インフラ事業企画部の青野祥治が登壇致しましたのでご紹介いたします。

本講演会では、カーボンニュートラルに向けた国内外の動向や再生可能エネルギー（以下、「再エネ」）の活用方法について語られました。

弊社の青野からは「脱炭素に向けた再生可能エネルギーの導入について」と題し、弊社の再エネ事業の概要や脱炭素実現に向けた社会情勢について説明した後、ビルオーナー様の脱炭素への取り組み手法について、弊社の事例を交えながら解説しました。



弊社 戦略事業ユニット
インフラ・インダストリー事業本部
インフラ事業企画部 青野祥治

はじめに、弊社ホールディングスグループでは、全社方針として「環境経営」を掲げており、自社発電所を活用したRE100※1実現に向けて取り組みを進めていると紹介しました。また、弊社は2019年に不動産業で初めてRE100に加盟※2しており、不動産会社でありながら再エネ事業に参入した背景としては「企業理念である『事業を通じて社会課題を解決する志』と合致していること、区画整理や宅地開発を進めてきた大規模開発ノウハウと地域の理解を得ながら事業を進める姿勢との親和性にある」と語りました。

※1：事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標とする国際的なイニシアティブ

※2：東京証券取引所市場第一部上場企業の業種別分類に基づく

弊社の再エネ事業においては、太陽光・風力・バイオマス発電所に加え、自社物流施設の屋上などの屋根上を活用したルーフトップ事業や、エネルギー及び農業問題の課題解決を図るソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）事業を展開していると説明しました。2022年12月に稼働開始した「リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所」においては、最適な発電量確保に向けた検証や、作物の育成データ収集・分析による営農実証を行うほか、発電所の近郊に既存建物を活用した「TENOHAE東松山」を開業したことを述べました。「TENOHAE東松山」では、発電所での実証内容の説明や展示、近隣の方にご利用いただけるカフェ・コワーキングスペースを設置するなど、ディベロッパーならではの地域活性化に向けた取り組みを行っているを紹介しました。



リエネソーラーファーム東松山太陽光発電所
イメージパース



TENOHAE東松山

最後に、ビルオーナー様に纏わる昨今のトレンドとして、「外資系テナント企業を中心に再エネオフィスへの関心が増加している点」と「『CSR』としての環境への取り組みが『企業価値』にシフトしてきている点」を挙げ、ビルオーナー様が脱炭素に取り組むことが、お客様であるテナント様のニーズに答えることにも繋がると解説しました。

また、脱炭素への取り組み手法の一つとして、オーナー様のオフィスビル等の建物屋上部分に再エネ事業者が保有する再エネ設備を導入し、需要家（オーナー様やテナント様）の再エネ電力消費を可能とする第3者所有のPPA※モデルについて、弊社の事例も交えながら説明しました。これにより、オーナー様は初期投資なく再エネ導入およびCO2排出量を削減でき、電気代削減も期待できると述べました。

※：「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略

■開催概要

▽タイトル

脱炭素社会づくりキャンペーン講演会

▽日時

2023年2月13日（月）14時～17時

▽主催

一般社団法人 東京ビルディング協会

▽形式

会場聴講とWeb視聴によるハイブリッド形式

▽ウェブサイト

<https://www.jboma.or.jp/tokyo/0202/020201/2023/01/9161/>

以 上



東急不動産